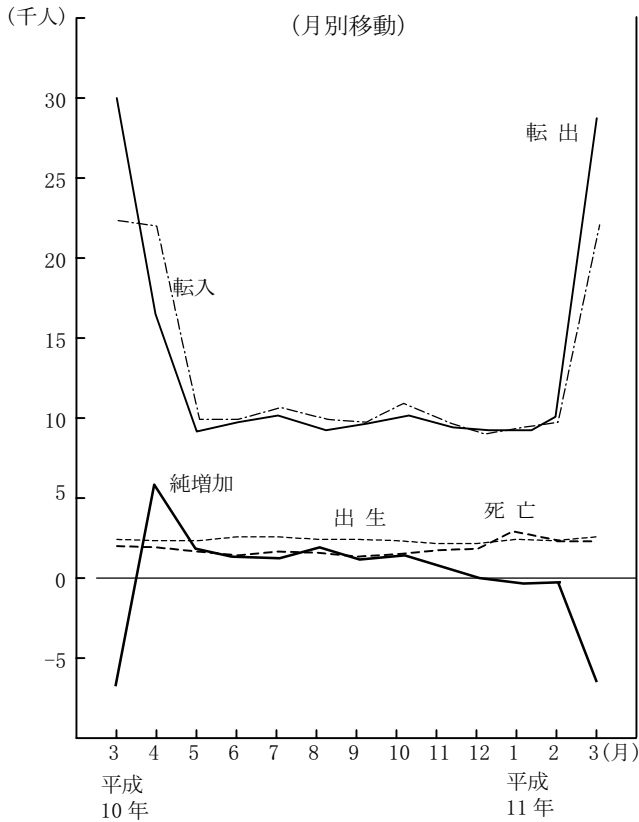
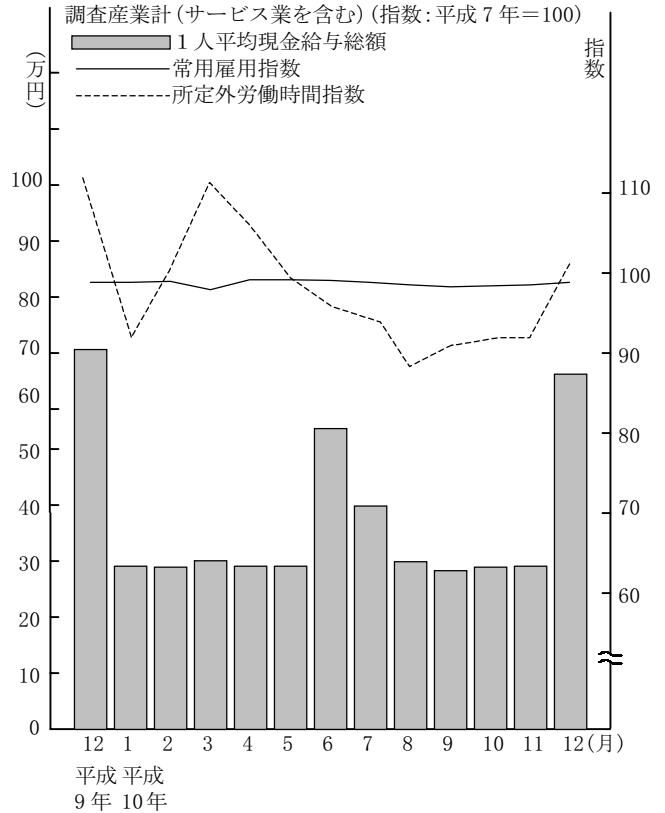


今月の主な動き

人口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (11年4月1日)

3月の概況

本県の人口は、3月中に6,621人減少し、4月1日現在で、2,988,255人(男1,490,966人、女1,497,289人)となった。

内訳は、自然動態で、155人(出生2,417人、死亡2,262人)増加し、社会動態で6,776人(転入22,515人、転出29,291人)減少した。前年同月と比べると8,610人(0.3%)の増加である。

市町村別では、増加が2市10町村、減少が18市54町村、増減なしが1町である。

世帯数についても3月中に、1,314世帯減少し、974,231世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (10年12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で657,464円、対前年同月比8.2%減、このうち、きままって支給する給与は274,622円、対前年同月比1.2%減であった。特別に支払われた給与は、382,842円であった。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で155.8時間、対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は144.8時間、対前年同月比1.3%減、所定外労働時間は11.0時間、対前年同月比10.5%減であった。

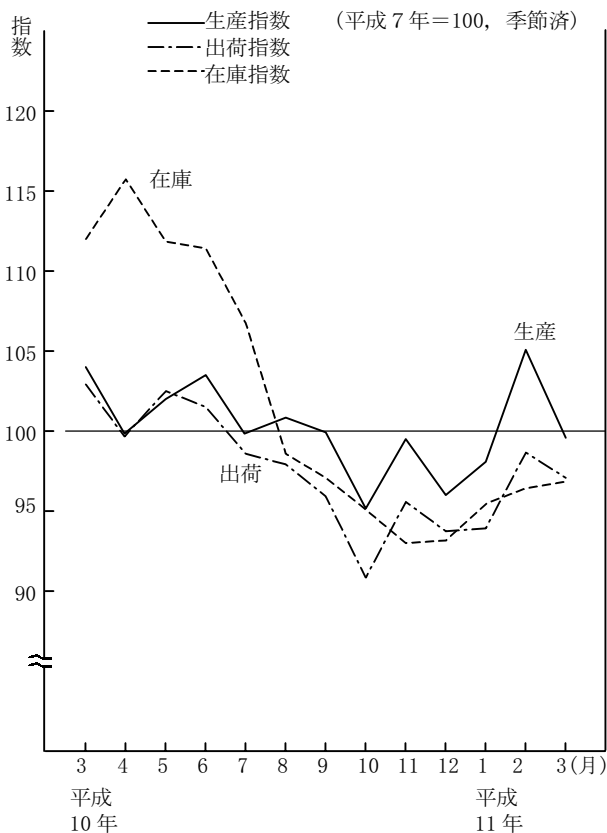
3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

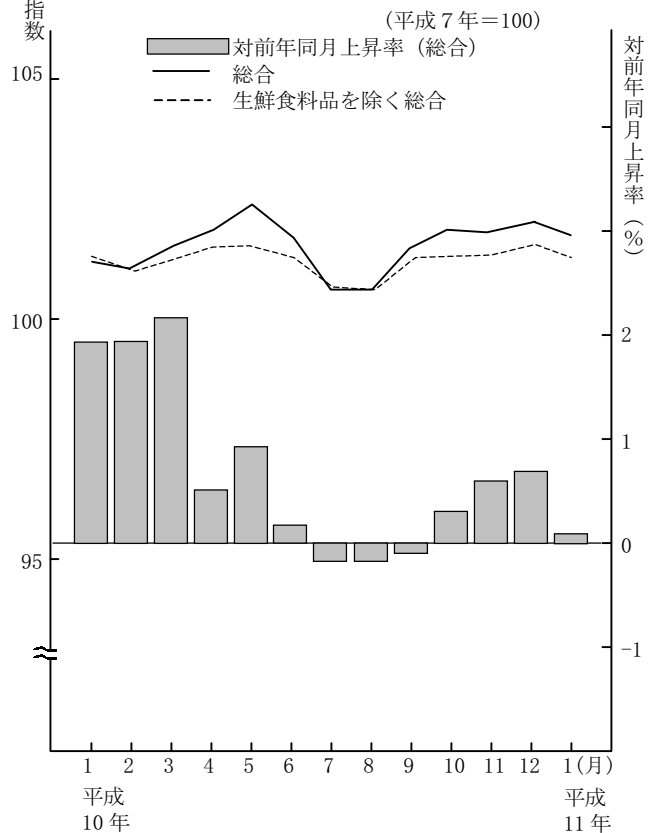
※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年3月）

本県における平成11年3月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が98.6、出荷が97.2、在庫が96.9で、前月比は、生産が△6.2%の低下、出荷が△1.5%の低下、在庫が0.5%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が△5.2%の低下、出荷が△5.6%の低下、在庫が△13.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、化学工業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が低下した。出荷では、窯業・土石製品工業、輸送機械工業、繊維工業等が上昇し、鉄鋼業、化学工業、石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、電気機械工業等が上昇し、輸送機械工業、精密機械工業、プラスチック製品工業等が低下した。財別にみると、生産では、鉱工業用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。出荷では、建設財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数（11年1月）

平成11年1月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.9（平成7年＝100）となり、対前月比0.6%の下落、対前年同月比0.1%の上昇となった。

今月の上がった主な項目・・・果物9.9%、

油脂・調味料2.4%

今月の下がった主な項目・・・乳卵類3.3%、衣料9.9%

シャツ・セーター・下着8.6%

生鮮食品を除く総合は101.4となり、対前月比0.6%の下落、対前年同月比0.3%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.9	△0.6	0.1	保健医療	112.0	0.0	△0.9
食料	104.0	0.0	1.9	交通通信	97.7	0.1	△1.3
住居	101.7	△0.2	△0.4	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.7	△0.2	△2.7	教養娯楽	99.1	0.1	△0.9
家具・家事用品	96.0	△0.6	△1.0	諸雑費	102.7	0.2	1.2
被服及び履物	102.1	△7.3	0.9	生鮮食品を除く総合	101.4	△0.6	△0.3